

令和 8 年 6 月 12 日

令和 7 年度学校関係者評価委員会報告

学校法人 神奈川歯科大学
東京歯科衛生専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和 7 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価

学外委員

- ① 佐藤 泰正 (文京学院大学女子高等学校 副校長)
- ② 功刀 初穂 (しらゆり歯科医院 院長)
- ③ 櫻井 純二 (田中歯科器械店)
- ④ 三宅 みちる (32 回卒業生)

学内委員

- ① 李 昌一 (学校長)
- ② 佐々木 ひろみ (副校長)
- ③ 中村 琢磨 (事務長)
- ④ 儀我 有子 (教務主任)
- ⑤ 齊藤 和臣 (広報部長)

2 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

会議議事録

会議名	学校関係者委員会（第7回）
開催日時	2026年 6月 12日（金）
場所	書面開催
委員 （敬称略）	佐藤 泰正（文京学院大学女子高等学校副校長） 功刀 初穂（しらゆり歯科医院院長） 櫻井 純二（株式会社 田中歯科器械店部長） 三宅 みちる（32回卒業生） 李 昌一（学校長） 佐々木 ひろみ（副校長） 中村 琢磨（事務長） 儀我 有子（教務主任） 齊藤 和臣（広報部長） 比田井 智哉（事務/書記）
配布資料	2025年度 学校自己評価報告書
結果報告等	集約した意見は「令和7年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書」にまとめた通り。

以上

2025年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書

※ 自己評価の10項目と基準点数

- 1) 教育理念・目標、2) 学校運営、3) 教育活動、4) 学修成果、5) 学生支援、
6) 教育環境、7) 学生の受け入れ募集、8) 財務、9) 法令等の遵守、10) 社会貢献・地域
<適切・・・4点、 ほぼ適切・・・3点、 やや不適切・・・2点、 不適切・・・1点>

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の指導及び助言
		評価 得点	成果と課題(「学校自己評価報告書」の略記)	
(1) 教育 理念 ・ 目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の理念・目的・育成人材像については、各学年の教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識して実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切かと思います。 教授要項の裏表紙で、目につくページなので、学生達の意識に繋がるかと思えます。 臨床等で活躍している卒業生の講話は、将来をイメージしやすい機会だと思うので続けて頂きたいと思えます。多様な分野で従事していると思うので、なるべく多くの卒業生の講話を考にして、いろいろな職場で活躍できることを認知してもらいたいと思えます。 医療業界の中にも最近良く言われるZ世代的な行動、発言を耳にすると伺います。(緊急搬送中のエレベーター内で、若い医師同士が患者さんが大変な状況であるにも関わらず、談笑していたり)そのような方々も一定数存在する中での教育は大変なものと同様ですが、医療として厳しく取り組まれている様子が伺え、また、生徒さんもそれらをご理解されている様に感じます。 目標内容を確認したところ、全体的に適切だと判断されます。また卒業生の生の声を学生に伝えることで歯科衛生士としての目標が立ちやすいのではないかと思います。とても良い試みだと思います。 御校独自の教育理念を掲げる一方で、系列法人である神奈川歯科大学の教育理念と共有する形で学生が主役となる教育を実践されているのは、医療人の育成を主とする教育機関として理に適っていると考えます。また、教育理念に沿った人材を育成するための職業教育として、「3:1体制」を導入されるなど、具体的な取り組みが顕著だと言えるでしょう。
	② 学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 在校生の歯科衛生士概論の授業の中で、育成人材像、将来像をイメージできるように現場で活躍する卒業生の歯科衛生士による講話を設定し、将来像を高めるための取り組みを前年同様取り組んだ。卒業生の生の声、アドバイスは学生に好評であった。 	
	③ 社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 教育理念・目的・育成人材像は定められていると考える。ホームページ上で、またオープンキャンパスにおいても、配布物に記載し、周知されている。それに共感して入学する者も多数いることも感じられる。 	
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 学校の理念・目的に基づく人材育成を実践し、新任教員の育成を充実させていく。 	

(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の育児休暇等があったが、教職員の協力、非常勤教員の採用で教育への影響を抑える事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切かと思います。 ・LMSを利用できるようになったことは、大変有意義であると思います。完全に紙資料がなくなることは難しいと思いますが、更なるDX化を進めてください。 ・経営の安定に伴い、各項目の達成に近づくものと思います。近年としては、黒字収支の一部をDX、またAI分野への投資によって、教職員のご負担軽減も重要と思います。 ・学校運営についての評価項目を確認したところ、全て適切ということで問題ないと思います。またWi-Fi環境を整えたことにより情報の共有が早くできたことはサービス向上と業務削減につながっていると云うところがとても評価できると思いました。また紙の削減ということで、時代に即した運営を行っていると思いました。 ・取り組み状況の報告には、運営方針に沿った事業計画の策定とありますが、その実行には教職員の協力が不可欠だと考えます。優秀な人材の確保、定着に向けて具体的な取り組みとしてどのようなことを行われているのか、また、それら人材が以後さらに活躍していくための人材育成制度などの具体についても知りたいところです。
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・TAKIホールのWi-Fiを追加で整備可能となった。 	
	③ 人事・給与に関する規定等は設備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・wifi設備により、教授要項、日程、授業資料等、学生が必要な資料をLMSにて利用できるようになったのは、学生へのサービス向上と教務の業務削減に繋がった。 	
	④ 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	4	<p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的には、教務事務を配置し、教員の本来の教育面での業務に専念できるようにしていく必要があると感じる。 	
	⑤ 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ部分の改善・紙の消費量を減らすためDX化を進めていく。 	
	⑥ 教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	4		
	⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	4		
	⑧ 業務効率化を図るシステム化がなされているか	4		

(3) 教育活動	①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実力試験のあり方、判断基準を検証でき、実施できた。 ・歯科臨床の場での、専門的な診療所の開拓を進めることができた。 ・GCのセミナー等を導入した。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続課題での更なる実習場所、専門性の高い授業の提供を考える。 ・TDH独自のFD、SDを進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GCのセミナー等の導入は、素晴らしいと思います。他のメーカーにもご協力頂き在校生に、いろいろと吸収してもらいたいと思います。専門性の高い授業を受けることにより、自分の進みたい分野の候補が広がると思うので、引き続きお願いいたします。 ・歯科メーカーによる授業の実施(提案)実際に授業を行ったメーカー社員(歯科衛生士)は、自分が学生の時、メーカー衛生士の行う授業に、憧れてメーカー就職を目指したという話を、聞いています。 ・教育活動について、職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているかと言う項目がやや不適切と言うところが気になりました。外部関係者の評価はこちらのように委員のメンバーから意見をもっと取り込めるといいと思います。審美歯科、訪問歯科、インプラントなどの新しい専門分野の知識や経験値の高い人材の採用が課題ということでぜひ積極的に取り組んでいただきたいと思いました。全体に自己評価が適切と言うことを確認いたしました。 ・取り組み状況の自己評価の中で、「職業教育に対する外部関係者からの評価」の点で、やや不適切と回答されていますが、まずは定量評価の評価軸を設けて、定期的に確認していけば良いのではないのでしょうか。また、その上で適切な外部関係者から定性評価を受けるという流れがあれば、客観性のある自己判断が得られると考えます。
	②	教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
	③	カリキュラムは体系的に編成されているか	4		
	④	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2		
	⑤	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
	⑥	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4		
	⑦	関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4		
	⑧	関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	4		
	⑨	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3		

(4) 学修成果	① 就職率の向上が図られているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生に対する国試対策はしっかりされていたと学生アンケートからも好評価を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寺子屋補講、国試対策補講など、学習が苦手な学生にもフォローをされていて素晴らしいと思います。卒業生の動向が偏っていることは、仕方がないとは思いますが、同窓会との連携で、より多くの卒業生の動向を把握できることを願っております。
	② 資格取得率の向上が図られているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・国試対策としてTDH独自のStup-Up、寺子屋補講を継続して取り組み、定員数の80名を合格させられた。 	
	③ 退学率の低減が図られているか	2	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇前の就職ガイダンスの開催を実現でき、学生への意識づけにも繋がった。昨年に引き続き、法人医療機関のガイダンス参加も現実化された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退学者退学率の低減については、具体的対応策の敷設と、夢ある未来へのための学びというポジティブシンキングの両面対策も必要かと思えます。既に行っていると存じますが。
	④ 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生による「卒後のキャリアアップ」講話を引き続き実施できた。 ・在校生の退学者の増加を真摯に受け止め、早急な対応を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退学率の低減が図られているかに対してやや不適切と言う評価がありました。こちらを改善していけると良いと思います。以前学生相談などを導入していたと思いますが、悩みなどを聞き取れる制度があると退学防止になると思います。学習成果に対してはほぼ適切と言うことで問題ないと思います。
	⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の動向は一部の人に偏っている傾向があり、同窓会との連携が必要である。昨今連携が稀薄になってしまったと思われる連携について模索が必要である。 	
				<p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退学者低減にむけ、学習支援の対応を優先課題として取り組む。

(5) 学生 支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人票閲覧のWeb化により、学生、教員双方に利点があった。 ・高等教育修学支援制度の対象者が増加し、経済的支援を継続している。 ・ハローワークの教育訓練給付金の対象講座として継続して指定され、今後の社会人入学生の支援を継続することができる。 ・就職ガイダンスの実施。また、企業による就職活動のアドバイスの実施ができた。 ・高校ガイダンスへの参加が増え、高校生への職業教育に繋がった。 ・感染予防対策を講じながら、学生の安全を図り、授業、実習を実施することができた。 ・保護者への各学期ごとの成績表の送付、必要に応じての電話連絡等担任との連携を取れるようにしている。 また3年生の保護者には、必要に応じ国試の取り組みに必要な情報を提供しサポートのお願いをした。 ・歯科衛生士会学生会員としての活動、デンタルショーへの参加、大学の研究等を進めることができた。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の動向を把握するために、同窓会との連携を強めていく方策を模索することを検討する。本校卒業生教員が増えたことにより同窓会との連携がとりやすくなったことを生かす方向で進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人票のWeb化は、学生にとって就職活動に関する情報を手軽に参照できる手段なので素晴らしいと思います。保護者への連絡やサポート依頼など細部にまでフォローされていて良いと思います。独り暮らしの学生の生活、学習習慣など保護者が把握できないこともあると思うので、引き続き連携を取っていただきたいと思います。 ・教職員の皆様が親身に生徒さんの相談にのっている姿を良く拝見しており、こちらまであたたかい気持ちになります。 ・学生支援において、自己評価では適切、ほぼ適切と言うことでよく対策されていると思います。求人票閲覧がウェブ化になったということで、以前厚い求人票の帳簿を見せていただいたことがありますが、検索などもできると思いますのでとても良い対策だと思います。 ・昨年度の自己評価でも、卒業生への支援体制については言及されていたと記憶しています。昨今歯科系大学の人気揺り戻しが起きていて、それは、働き方改革にも合致した適度な労働環境、特に女性にとって、一旦出産育児等で職場を離れても、復職のし易さなど、この分野の強みが要因として挙げられていました。素人が出過ぎたことを申し上げる失礼をお許しいただければ、歯科衛生士を育成する専門学校として、この国家資格に加えて、関連する民間資格の取得を勧めるなどすることも、御校独自の支援体制につながるのではないのでしょうか。
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4		
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4		
	④ 学生への生活環境への支援は行われているか	4		
	⑤ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4		
	⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4		
	⑦ 保護者と適切に連携しているか	4		
	⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3		
	⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4		

(6) 教育環境	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の口腔内を再現した歯科顎模型および口腔内以外の周辺器官と人体を再現したシミュレーターを導入し、高齢者への口腔ケアの実習を充実させることができた。 ・実習室のウォッシャー洗浄機を本格的に活用させ、効率的かつ安全に実習を行うことが可能となった。 ・臨地実習先として、横浜クリニックが軌道にのった。 ・防災ヘルメットの購入を継続し、避難訓練を実施できた。また3日分の水、食料、簡易トイレの備蓄も整っている。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外研修については法人短大と連携を取りながら模索していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の顎模型とシュミレーターによる高齢者への口腔ケアの実習は、非常に意義深いことだと思います。私の在学中には、このような実習がなかったので羨ましく思います。 ・時間内での自習室の運用。仲間と予習、復習することで遅れや、勉強不足をカバーする。 ・教育環境について適切、ほぼ適切と言う自己評価を確認しました。こちらもよく対応されていると思います。近年、水害や地震など大きな災害が発生することもあり、防災ヘルメットの購入など継続されていると言うことでよく整備されていると思います。 ・昨今の経済状況を鑑みると、海外研修まで実行に移すのはなかなか大変だと思いますが、インターンシップ、学外の実習施設など、学校という枠を少し飛び越える機会を設けられれば、これも御校の教育の特色とすることができるのではないのでしょうか。例えば、神奈川歯科大学など学外の教育機関での研修については、御校にしかできない取り組みとして、検討の余地はあるのではないのでしょうか。
	②	学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	3		
	③	防災に対する体制は整備されているか	4		

(7) 学生の受入れ募集	① 学生募集活動は、適切に行われているか	4	【成果と課題】 ・広報担当者をはじめ教職員が一団となり取り組んだ成果であると感じる。	・今後の改善方策における学生のアンケートでの原因を分析することに賛同いたします。
	② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	・オープンキャンパス時に、学生、教職員の対応は好評を得、募集活動に貢献した。 ・若者(高校生)をターゲットとしたSNS戦略を取り入れ、好評を得ている。(フォロワー数のアップ)	・HPはとても見やすく、明るく、サクサク動くので、サイト滞在時間は長いと思います。とても良いHPと思います。
	③ 学納金は妥当なものとなっているか	4	・本校の教育方針を伝えるガイダンスに参加でき、TDH教育を広められ、高校との接触を強化できた。 ・入学者の定員充足を目指す。	・学生の受け入れ募集について、全て適切と言う自己評価になっています。少子化と言われている現在入学者の定員充足に力を入れて対策を行っていることがわかり、教職員の皆様がとても頑張っていると感じました。
			【今後の改善方策】 ・学生アンケートを活用し募集低下の原因を探り充足を目指す。	・生徒募集が他の全ての教育活動の成果と密接に関連しているのは間違いのないと思います。そのどちらが先なのかはさておき、今後の就学者人口の想定推移を念頭に置くと、一層の注力が求められます。そういったことを考えると、入学定員充足は素晴らしいと思います。ただし、全く予断を許さないことも間違いありません。まずは、競合する他校の分析や系列法人である神奈川歯科大学との連携協働など、常に新しい視点を持つことが大切だと考えます。

(8) 財務	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年連続しての入学定員充足と休退学者減少による学生在籍数の増加、及び法人変更の好影響により、学校の財務基盤は更に安定を維持し、今年度も経常収支は黒字決算の予定。 ・財務の安定により、教育に関わる教材、設備等の導入、教員の増員も可能となった。また、要望にできる限り対応することが可能となった。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退学者防止に努め在籍数を維持し募集の回復を目指していけば財政基盤は更に安定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材・設備等の導入、教員増員は、有意義であると思います。休退学者減少は、先生方のご努力などもあると思います。お疲れ様でございます。 ・物価高騰に伴い、授業料・実習者等、適宜検討が必要と存じます。 ・自己評価についてすべて適切と言うことで確認しました。7年連続して入学定員が充足し、学校の財務基盤が現在安定している事は大変素晴らしいと思います。財務の安定により教育に関わる教材や設備を充足し、教員の導入も可能となる言うことで、方針はとても良いと思います。 ・財務諸表を拝見しましたが、学校法人全体としてなされていて、極めて安定した経営がなされていると判断いたしました。専門学校単体での学校法人でないことの強みだと考えます。ただし、医療系教育機関は施設や機器の刷新だけでなく、組織全体、人員、教育内容、運営方針などの更新が求められると思われます。そういった意味では、気を緩めることができない組織運営が求められるでしょう。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4		
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4		

(9) 法令等の遵守	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を今年度も継続公開している。 ・専修学校設置基準及び養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。 ・問題点の改善に取り組んでいる。 ・広報等で使用する承諾書を全学年取得した。 <p>【今後の改善方策】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切かと思います。 ・これからは、AIの活用方法について、教育、指導が大切と思います。特に、個人情報、学校情報等、AIに反映させてはいけない項目を、しっかり具体的に教育していく必要があると思います。 ・法令等の遵守について自己評価を確認したところ、すべて適切と言うことで良い運営をされていると思います。専修学校設置基準及び養成所ガイドラインを遵守した運営を継続していると言う点はとても良いと思います。 ・医療分野に携わられる教育機関として、その活動の情報公開、ガイドラインの遵守を引き続きお願いいたします。
	②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4		
	③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4		
	④	自己評価結果を公開しているか	4		

(10) 社会貢献・地域貢献	①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体への施設貸し出しを行い、社会貢献活動を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切かと思えます。学生ボランティア活動を通じて、社会に出てからより広い視野で対応できると思いますので、ボランティア活動へのご周知をお願いいたします。
	②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設での「健康講座」を3年生対象に年2回取り入れ実施できている。 ・臨地実習を通じて積極的にかかわれていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設での臨地実習は、双方にとってとても良い事だを思います。
	③	地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、地域の町内会有志に花見開放をして楽しんでもらっている。 ・各学会の学生ボランティア活動の周知を拡げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献、地域貢献について、学生のボランティア活動の推奨支援はほぼ適切と言う評価になっていました。地域に対する公開講座の受託を積極的に実施している点もほぼ適切と言う評価になっていました。学生時代に地域に出ていき、ボランティア活動を実施することにより、より意識の高い歯科衛生士になっていくと思えます。今後もこの活動を続けていってほしいと思えます。
				<p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的に地域にアピールし、イベント、社会貢献活動を継続していく。 ・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。積極的にアピールしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、社会に開かれた教育機関であることは、学校全体の魅力となり、在校生、卒業した学生のキャリアアップなど、直接ではなくとも波及効果があると思われまます。それを求めて行うのではなくとも、教育機関としては、地域に根付いた教育活動を展開してもらいたいと思えます。また、特に御校の場合には、他にはない特色ある施設をお持ちなので(難しいとは思いますが)、これらを地域の特色として周知してもらおうなど、新たな視点があっても良いのではないかと考えます。